



奈々子 report

大山奈々子レポート《発行：日本共産党港北区委員会 樽町1-24-36 ☎045-543-4138 2019年6月

新しい議会が始まりました。

いただいた議席の重みを噛みしめ、ご期待に応えられますよう全力でがんばります！

★児童虐待を生まないために。

児童虐待の悲しいニュースが止まりません。私たち共産党県議団はこれまで児童相談所、一保護施設、児童養護施設、子どもの虹情報研修センターなどを視察してきました。

国会議員団に「児相の所長の研修センターが全国に一か所しかない状況の改善を」とつなぎ、県には予算委員会などで児童福祉体制の強化を働きかけてきました。神奈川県は、今年度から児童福祉司を19人増員しました！

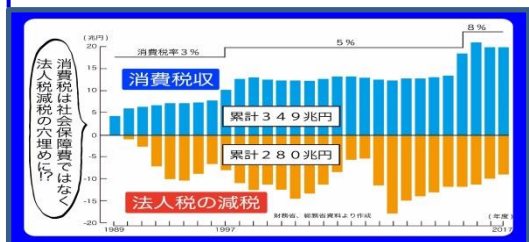
しかし、そもそも虐待を生まない社会環境が必要ではないでしょうか。ユニセフや各種調査で貧困と虐待に強い相関関係が報告されています。低所得層ほど虐待の発生が高いのです。

その意味でも10月に予定されている消費税の増税は経済的格差を一層広げるものであり、弱いものいじめの増税です。

県議会にも増税を止めるよう国に意見書をとという請願がよせられていました。

消費税を上げなくても

◆大企業への優遇税制を改め中小企業並み負担で4兆円◆富裕層優遇の証券税制を改め最高税率を引き上げれば3.1兆円◆世界に例を見ない破格な米軍への思いやり予算を廃止して0.4兆円、と社会保障の財源は生み出せます。



30年間国民が納めた消費税の約8割が法人税減税の穴埋めに。

県議団 HP・大山奈々子ブログ・Twitter・Facebook・Instagram もぜひご覧ください。



【議会のリアルシリーズ】

これは私がツイッターで発信しているシリーズのタイトルです。選挙戦を通じ、いろいろな候補者の宣伝物を見て、議会の本当の実態をお伝えするのは並大抵ではないと思いました。



ぜひご自宅に配布される「議会かながわ」をたとえば直近の162号では今年度の第一回定例会で議案の賛否がしめされています。

私たちは、財政力全国3位の本県が、様々な福祉施策などのランキングが全国でも下位にある現状から、県民サービスの後退や県民負担の増加につながる施策、県民の命や健康に被害を及ぼすおそれがあるものには反対しています。例えば今回は水道の民間包括委託や市町負担金を増やすもの、消費税増税を前提にした諸料金の引き上げ関連です。

ツイッターで広報を見た方からこんなコメントが寄せられました。

「共産党以外反対×つけて無いんだけど。すっごく良くできた予算案や条例の制定や一部改正なんだね。みーん○だよ。

他県もこんなもんなのかな？」

...

皆さんの税金の使い方を審査する役割を果たしてまいります。



憲法9条改悪 NO!